



発行 日本共産党 寝屋川議員団 072-824-1181 FAX:824-7760 No.3521

寝屋川市会議員 中林かずえ 宝町4-33 090-3944-8385

寝屋川市会議員 松尾信次 下木田町12-6 090-3056-9924

寝屋川市会議員 西田まさみ 石津中町30-30 90-9713-3588

前寝屋川市会議員 太田とおる 高柳2-49-2 080-3818-9722

大阪府が 補聴器購入補助を実施すべき

中林議員が一般質問で求める



一般質問する中林議員

東京都は介護予防事業として実施

中林かずえ議員は、難聴者の補聴器購入補助について質問しました。◇ ◇

★(問) 東京都は、「介護保険福祉計画」で、介護予防事業として「高齢者の「ミニ」ニケーション支援事業」で、補聴器購入補助事



1回の薬を2・3回に分けて服用

中林かずえ議員は高齢者の医療費負担について、質問しました。◇ ◇

まずは、国民健康保険では、府内統一国保による、全国一高い保険料の引き下げを行うよう大阪府に、強く要

難聴と認知症の関係は明らか

中林議員は再質問で、「介護予防事業」として補聴器購入事業を実施するということは、難聴と認知症の関係が明らかになっているからできるものであり、東

京都が実施することで、東京都内の自治体で補聴器購入補助事業が進むことになる。これは、東京都が都道府県としての役割をしっかりと果たしてい

るもので、大阪府に対して、大阪府が役割を果たすよう、市として強く要請するように求めました。市は、「府に要望する」と答弁しました。

望することを求めています。◇ ◇

★(問) 医療費が増えない市民相談が増えています。Aさん67歳は、年金月5万5千円、ご夫婦合わせて12万円です。糖尿病の月約2万5千円の医療費が払えず、1回の薬を2回、3回に分けて飲んでいきます。

値上げされ、1食490円、1日1470円と10年で2倍になりました。2週間の入院で食事代だけで2万円を超えます。★(問) AさんもBさんも、治療に必要な医療費が払えませんが、こいつの場合どうやって治療費を払えばいいのか？市としての対応策を具体的にお聞きします。

中林議員は、年金では支払えない限度額が設定されているので、国に対して、限度額の引き下げを要望するよう求めました。

Bさん71歳一人暮らしは、年金が月約12万円です。課税世帯です。家賃2万5千円、持病の入院治療では退院時に払えず、1万円の分割払いをしています。入院給食費は今年も

●(答) 医療費の支払いが困難な方への対応については、窓口等で相談があった場合、限度額適用認定証の制度説明とともに、個別

府営住宅の募集
募集期間 2月3日(月)~2月17日(月)
寝屋川市委員会に 申込書があります。

地包括支援センター職員の処遇改善を 12月議会 中林議員が一般質問

ひとり暮らし高齢者が増え重要な役割

中林議員は地域包括センターについて一般質問しました。

◇ ◇ ◇
★(問) 高齢化率が高く、一人暮らし高齢者が、増え続ける本市において、重要な役割を担う、支援センターの体制強化と処遇改善などによる、専門職の欠



員解消について、来年度に向けての、検討状況をお聞きします。

紙オムツ事業 家族介護以外も対象に

◇ ◇ ◇
中林議員は紙オムツ事業についても質問。

★(問) 本市では、在宅介護の要介護3〜5で、本人と介護者が非課税の市民を対象に、オムツと介護用品の組み合わせを、一部負担で月1回配達しています。しかし、家族介護者の

が増加する中、対応を担うセンターの役割は益々重要となる事から、適切に対応できる職員

体制のあり方や魅力ある職場に向けた処遇改善について検討を進めております。

負担軽減が目的の事業のため、介護事業所による介護をうけている

の対象拡大については、家族介護用品支給事業は、国において介護保険サービスの任意事業としての位置づけの見直し示されており、今後、市として事業の在り方について検討を進めてまいります。

1人暮らしの人は対象外です。他市のように、介護事業者による在宅介護の高齢者も対象にするよう求めます。

●(答) 紙オムツ事業

開発から周辺農地の保全を

中林議員は農地保全について一般質問しました。◇ ◇ ◇

「これ以上、緑をなくさないでほしい」は市民の願いです。

一方、農業者では、後継者がなく、耕作を続けることが、体力的にも難しくなっている方が増えています。

市は、10年後の農地利用などを定める「地域計画」策定のため、農



木屋元町の農地

業者の意向を聞くアンケートや座談会を開催しています。

★(問) JA(農協)の農作業受託への市補助の実施について。

周辺農地に十分な配慮を行う

★(問) 木屋元町の第一種農地内での、「約1.9ヘクタール、高さ30mの物流施設の開発」の地元説明が始まっています。

今後、市に開発協議が出された場合、建設用地周辺に残される農地環境については、開発指導要綱に加えて、農地を保全する立場からの指導が必要と考え、お聞きします。

●(答) 建設用地周辺

●(答) 全国の農業協同組合において実施されている事業であり、

成果物の帰属の在り方等も考慮し、市補助金は実施しておりません。

に残される農業者の農地環境については、開発事業事前協議申請が提出された際に、周辺農地への影響等について、十分な配慮を行い、理解を得るよう協議してまいります。

議員日誌



中林 かずえ

1月25日、葛原自治会集會場で開催のうたごえ喫茶に、18人が参加、私も寄せていただきました。

大利町の喫茶A.Oさんをお借りしていましたが、コロナで中止して、広く使える現在の葛原自治会集會場に移りました。

主催者からは、2015年8月に、池田南町の「ダイニングキッチンぱーち」さんを借りて1回目

開催場所の変更に伴い、参加者も変わりましたが、延べ約80人の方々が参加されています。

うたごえは、つらい気持ちを抱えて初めて参加された知らない人をも、優しく包み込んでくれます。また、戦争でなく平和や労働、人間としての尊厳を守る闘いの歌も多くあり、元気がでます。

伴奏とうたをリードいただいているスタッフに感謝です。



うたごえ喫茶

1月24日付け民報で、古川雨水幹線バイパス管工事の完了は、2027年7月予定に訂正します。



市政報告会のご案内

日時：12月21日(木)

午後4時～

場所：寝屋川市委員会



生活保護権利ポスター



環境影響評価制度の導入を



介護認定期間短縮加速化プラン	
期 間	令和6年度～令和7年度
目 標	介護認定の平均所要日数2.4日の実現（現状からの大幅短縮）
内 容	1. 多様な担い手による調査体制の強化（雇用環境変化に強い体制へ） 2. DXの活用を踏まえたデジタル化の推進による効率性の向上 3. 介護の必要性を重視した「特急対応」の実施
◆R6年度（12月補正）	12,025,000円
●議会・事務体制強化（会計年度任用職員）	
介護支援専門員2人：1,842,000円（一般報酬等）	
事務職1人：632,000円（一般報酬等）	
※電動バイク1台、電動自転車1台：465,000円（車両購入費）	
●介護認定審査会の委員報酬改定（条例改正）	
委員長（21,000円→23,000円）：184,000円（増額分）	
委員（19,000円→20,000円）：230,000円（増額分）	
●調査委託	
①指定調査の外部委託（指定市町村事務委託法人）：4,207,500円（R7債務負担行為設定）	
②調査準備改定（3,850円→4,400円）等（個人委託調査員及び介護支援事業所）：3,382,500円	
●介護認定審査会へのタブレット端末導入（63台 レンタル）：1,081,494円（電話料・委託料）	
R7～R11債務負担行為設定	
※介護認定期間短縮加速化プランの実施で必要となる関係予算（新規・拡充分）については、福祉基金を活用	